

定期的に乳がん検診を受けて 早期発見を!

乳がん検診無料クーポン券

芦屋市・西宮市では6月頃
に対象者(40・45・50・55・
60歳)に送付しています。

ともも
人物
109

日本における乳がんの患者数が年々増加傾向にあり、女性の臓器別がんでは第一位です。しかし、早期発見であれば90%の方が治癒する病気もあります。乳腺専門医として乳がん検診、乳腺診療に専念し地域密着型の「頼りになるかかりつけ医」として診療にあたる先田功院長にお話を伺いました。

■「ピンクリボン運動」について教えて下さい。

8人に1人が乳がんを発症というアメリカの80年代から盛んになり、乳がんの早期発見、早期診断、早期治療を通じて乳がんで悲しむ人を動かすための啓発運動です。毎年10月は乳がん撲滅月間と銘打つて、世界的にもさまざまなもので活動です。毎年10月は大橋などの建物

をシンボルカラーのピンクにライトアップしたり、新聞、雑誌などが特集記事を組み、ピンクリボン運動で一番の中核をなすのは、マンモグラフィを用いた乳がん

検診の推進です。日本女性は30歳代から50歳代と比較的若い年齢で発症するケースが多いこと、原因として生活習慣や食生活の欧米化などが考えられています。院内でも啓発運動のポスターや講習会や乳がんの患者会「虹の会」の案内など置いていますので、ひとりでも多くの方が賛同してくれたらよいと思っています。

■乳がん検診の受診率がまだ低いようですが…。

以前よりは受診率が上がり約20~30%です。芸能人などの乳がん体験話やピンクリボン運動、平成21年度より日本のがん検診受診率を50%にあげることを目標に「女性特有のがん検診推進事業」が全国的に実施され、「乳がん検診無料クーポン券」の配布なども検診率向上の要因だと思います。講演などでも「マンモ検診は乳がんからのちをまもるシートベルト」と標語をかけて、多くの女性の検診受診を唱えています。

■マンモグラフィ検診とはどんなのですか?

乳房専用のX線撮影です。

■開業されて先生の心がけているらしさることは?

地域に根ざした信頼のおける医者であり続けたいと思っています。患者さんの不安にお答えできるように、セカンドオピニオンの実施や相談相手になれるベテランの看護師もおります。意外と乳腺炎の患者さんが多く、この病院にいけばよいのか分からなかつたという声をよく聞きます。どんなことでも気になってることがあれば相談に来てください。

診療や学会出席、講演と忙しくされている先田先生が、研修医として頑張つていらっしゃるお嬢さんのお話を聞いた時、優しい父親として的一面を見せてくれました。(齊田)

先田 功



Profile

【経歴】昭和33年1月17日生まれ。昭和60年大阪大学医学部卒業、同大学外科入局。平成17年県立西宮病院外科部長、平成18年さきたクリニック開業。同院院長

◎さきたクリニック 西宮市和上町2-35-101 TEL 0798-26-1222

【資格】マンモグラフィ検診精度管理中央委員会(読影医A判定)、日本超音波医学会(専門医)